

# 『バンバン！楽しいね』 0歳児 5月

## エピソード

室内で A 児がハイハイや伝い歩きをしながら興味のある所へ行ったり玩具を触ったりして遊んでいました。棚につかまり立ちをした時、両手を棚の上に乗せると『バン!』と音がなりました。それが面白かったようでニコツと笑い『バンバン!』と音を立てて叩き出しました。保育者の方を見ながら叩いたので「バンバンしてるの?面白いね。」と保育者も笑顔で A 児と一緒に棚を叩いて遊びました。保育者が叩く音に合わせて歌を歌うと、A 児は「あーっ」と声を出し、さらに嬉しそうに笑い、一緒に叩いていました。その様子を見ていた B 児も側に来て、一緒に棚をたたきはじめました。しばらくその遊びを楽しむと、A 児は満足したような表情で他の遊びに移っていきました。



## 保育者の思い

普段の何気ない子どもの仕草でも、楽しんでいることや動きを真似たり、視線を合わせたりしながら子どもの気持ちに寄り添って遊びを一緒に楽しむことで、姿を受け止めてもらう安心感、保育者とコミュニケーションをとる楽しさ、嬉しさを感じていると、A 児の笑顔や声から見て思いました。

歌いながらたたくことで、歌に合わせて叩く楽しさも感じて欲しいと思いました。

## 子どもの育ちや学び

- ・棚を叩いて音が鳴った事で、A児は音に気付き、自分の動きで音が出る楽しさを感じたように思います。
- ・A児の楽しんでいる姿を保育者が共感し、視線を合わせたり真似たりしたことで、嬉しさを感じ、人と関わることの喜びや楽しさ、安心感へと繋がったように思います。

## 家庭だったら・・・

- ・目を合わせて優しく微笑むだけでも子どもは安心感を得ます。
- ・子どもがしている喃語を真似て繰り返したり、応えたりする事で子どもは受け止めてもらえた嬉しさを感じ、発語の意欲へと繋がります。
- ・玩具、遊具だけが子どもの遊ぶものと思わず、子どもの目線になり、子どもをしている動きを真似て一緒に楽しんで欲しいと思います。

